

様式第8号（第11条関係）

令和6年3月26日

吉野川市長 原 井 敬 様

団体名： 里山アニマ
代表者： 柿原 達

補助事業等実績報告書

吉野川市補助金交付規則第11条の規定により、次のとおり関係書類を添えて実績を報告します。

- 1 補助事業等の名称 吉野川市市民提案型まちづくり推進事業
- 2 交付決定番号 5吉生第49号
- 3 交付決定額 500,000円
- 4 関係書類
 - ・事業実績書
 - ・収支決算書
 - ・その他市長が必要と認める書類

事業実績書

| | |
|---------------------------|---|
| <p>事業の目的</p> | <p>この団体は、高齢化や跡継不足などで維持管理できない里山の畑、果樹園を無償で借上げ、手入れを行いもう一度、梅や茶を商品化する事により里山を守り跡継育成につなげる事を目的とする。また、里山を手入れする事により、SDGsのかんてんからも環境問題に大きく寄与する事も目的とする。</p> |
| <p>事業の内容 (規模及び数量)</p> | <p>① 伐採、剪定、下草刈り事業→山川町川田の梅畑賃借契約 ② 収穫、加工事業→美郷清月旅館跡を加工所とし保健所登録 ③ 販売事業→梅シロップ、竹筒晩茶の販売 ④ 環境問題学習事業→うめの収穫、茶摘み体験などによる学習 ⑤ 会報及び出版物の発行及び広告宣伝事業→計画中</p> |
| <p>事業の効果</p> | <p>梅、茶畑を手入れする事により収益が見込めるまで回復している。竹筒晩茶など新商品の開発により販売収入も見込める。旅館跡の活用により空家の有効活用につながっている。</p> |
| <p>事業完了年月日</p> | <p>事業期間 4月1日より翌年度3月31日を1年の期間とする。 事業完了 10年計画とし収益が見込めるまでになれば法人及び会社組織に変更する。</p> |

様式第10号(第11条関係)

収支決算書

収入の部

(単位:円)

| 項目 | 本年度 予算額 (A) | 本年度 決算額 (B) | 差引増減額 (B)-(A) | | 備考 (積算の根拠等) |
|-----------------|-------------------|-------------------|------------------|-------|----------------|
| | | | 増 | 減 | |
| 市補助金 | 500,000 | 500,000 | | | |
| 他の補助金(国・ 県)等 | | | | | |
| そ の 他 | イベント会費 | 94,000 | 94,000 | | イベント4回(47名) |
| | 販売収入 | 164,000 | 159,000 | 5,000 | 令和5年度販売収入 |
| | | | | | |
| 合計 | 758,000 | 753,000 | | 5,000 | |

支出の部

(単位:円)

| 項目 | 本年度 予算額 (A) | 本年度 決算額 (B) | 差引増減額 (B)-(A) | | 備考 (積算の根拠等) |
|-----------------|-------------------|-------------------|------------------|-------|----------------|
| | | | 増 | 減 | |
| 製造所改装費 | 518,000 | 517,540 | | 460 | |
| (内訳) 製品貯蔵庫作成 | 380,000 | 379,000 | | 1,000 | 貯蔵所新設 |
| 製品加工場作成 | 138,000 | 138,540 | 540 | | 加工場改修工事 |
| 機材購入費 | 70,000 | 69,700 | | 300 | 草刈機 |
| 運営費 | 170,000 | 170,760 | | 4,240 | |
| (内訳) ガソリン代 | 45,000 | 43,060 | | 1,940 | 草刈機燃料等 |
| 梅畑整備費 | 90,000 | 87,700 | | 2,300 | 食品衛生管理者取得 |
| 借家費用 | 35,000 | 35,000 | | | 加工場賃借契約(月割) |
| 合計 | 758,000 | 753,000 | | 5,000 | |

梅畑の剪定とチップ散布

令和6年3月状況

令和6年3月

令和5年9月



大枝の剪定と剪定した枝をチップにして散布した状況 剪定まえの状況



竹チップ散布状況



梅畑の管理における課題と対策

- ①令和4年度の剪定の結果、剪定した枝を積み上げておくと広大な場所が必要となる
対策：剪定した枝は粉砕機によりチップに加工し根本周りに散布する
- ②大枝を剪定すると翌年度に梅の実がならない
対策：剪定する木を少なく設定しかつ、剪定量も初年度は大枝のみの剪定とし木の弱体化を防
- ③鹿が低い枝の葉を食べている
対策：人が歩いて枝葉が顔に触れないくらいの高さまで剪定する
- ④鹿などが畑を歩き回って畑の土の流出が多い
対策：竹チップの散布を行い土の流出を防ぐとともに古木になっている梅の木の栄養とする